



# みながっ子 **新** 年度号

東広島市立三永小学校  
令和8年度学校だより

学校教育目標 「お互いを大切にし、主体的に学び続ける児童の育成」  
めざす子ども像 ★進んで学び合う子ども ★自分も人も大切にすることも  
★自分のめあてに向かって粘り強くやり抜こうとする子ども



三永小学校の  
HPは、こち  
らから

## 令和8年度 スタート

4月8日(水)、三永小学校は、266名の児童と26名の教職員で新年度をスタートしました。今年度も、学校教育目標「お互いを大切にし、主体的に学び続ける児童の育成」をめざして、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。保護者・地域の皆様には、昨年度同様、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○学校教育目標 「お互いを大切にし、主体的に学び続ける児童の育成」

～校訓 かしこく やさしく たくましく やりぬく～

○めざす子ども像 進んで学び合う子ども 自分も人も大切にすることも  
自分のめあてに向かって粘り強くやり抜こうとする子ども

○めざす学校像 みんなでつくる 自分がつくる 学校  
～ともに高まり合い、一人一人がつくり手となる学校～

○めざす教職員像 子どもをよく見、子どもの声に耳を傾け、子どもの成長を支える教職員

○令和8年度スローガン ともに高まる

○学校経営の柱 すべての子どもを すべての教職員で すべての教育活動で  
～児童の主体性を伸ばすチーム経営・学年経営～

校長  
教頭  
主事  
養護教諭  
1年1組担任  
1年2組担任  
2年1組担任  
3年担任  
  
4年担任  
  
5年担任  
  
6年担任  
  
5・6年担任  
(チーム担任制コーディネーター)

たんぽぽ1組担任  
たんぽぽ2組担任  
すみれ学級担任  
専科  
拠点校指導教員  
非常勤講師  
学校教育支援員  
教育補助員  
コミュニティ・スクール推進員  
スクールサポートスタッフ

# チーム担任制の導入について

令和8年度、本校は、東広島市教育委員会のご支援をいただきながら、新たな指導体制「チーム担任制」を導入いたします。これまでの「学級担任が一人ですべてを担う」形から、「複数の教職員がチームで子ども達を多角的に見守る」形へと進化させ、子ども達がより安心して、自分らしく成長できる環境を整えてまいります。さらに、子どもが自ら考え、動き、仲間と学び合う力を育て、「担任がつくる」学級から「子どもがつくる」学級へと転換していきます。大人に頼りきるのではなく、自分達で学級をつくり上げていく経験を通して、主体性を育んでいきたいと考えています。

## 1 チーム担任制とは？

チーム担任制とは、学年（または複数学年）の教職員全員で子どもを育てる新しい指導体制です。従来のように一人の担任が学級を固定的に受け持つのではなく、複数の教員が学級の枠を越えて子ども達に関わります。

三永小学校では、低学年（1・2年）チーム、中学年（3・4年）チーム、高学年（5・6年）チーム、たんぼぼ・すみれチームの4つのチームで活動していきます。（たんぼぼ・すみれチームの子どもは、低中高学年チームにも所属します。）

## 2 目的

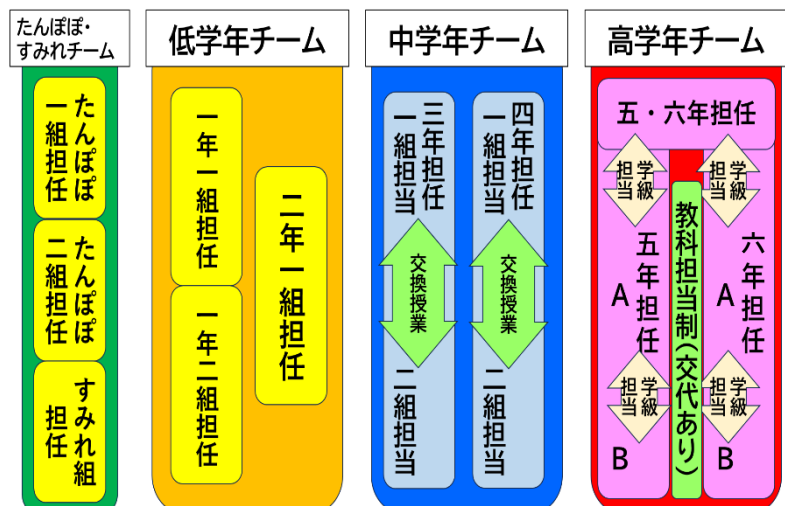
教職員が協働して、子どもを多面的に理解し、子どもが自ら学び、仲間と共によりよく成長しようとする姿を支える学校づくりを進めるため

## 3 チーム担任制の効果

- 主体性の発揮・・・特定の担任への依存を減らし、チーム全体で見守ることで、子どもたちが自ら考え判断して行動する力を引き出すことができる。
- 多面的な理解・・・複数の教職員が多様な関わりを通して、子どもをより深く・多面的に理解できる。
- 関係性の向上・・・教職員同士が助け合い、チームとしてより良い体制を組むことができる。
- 指導力の発揮・・・学級の垣根を越えて、個々の教職員の強みや専門性を発揮できる。
- 元担任の機能・・・複数の教職員が関わることで、子どものことを知っている教職員が年々増え、安心感につながる。
- 柔軟性・・・子どもの学び方を軸にした柔軟なグループ構成やコース選択等ができる。

## 4 具体的な方法

- ★発達段階に配慮して、段階的に導入します。
- ★チーム経営と学年経営を組み合わせ、効果的な指導を行います。
- ★チーム担任制コーディネーターが連絡調整して、チーム、学年で情報共有のためのカンファレンスを日常的・定期的を実施します。



【低学年チーム】【たんぽぽ・すみれチーム】

- 学級担任制※従来通り
- 学校生活導入の初期であることを考慮し、共通認識のもと生活指導を充実させる。
- 生活科や体育科、生活単元学習などで、合同で活動する機会を増やす。

【中学年チーム】

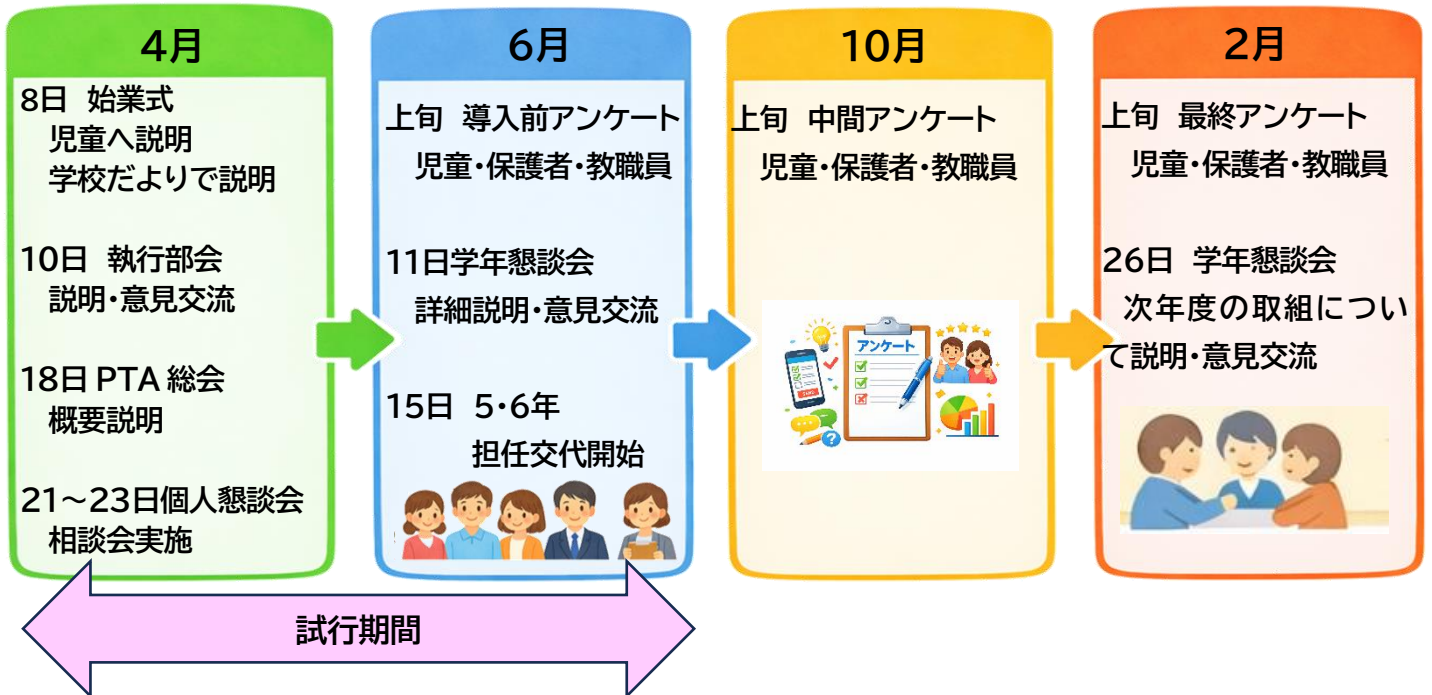
- 学年担任制（学級担任制をベースとした連携強化）  
担当学級は年間を通して固定 ※実際の仕組みは従来通り
- 「隣のクラスの子ども」「隣のクラスの先生」という意識をなくす。
- 3時間程度の交換授業を実施する。
- チームでの活動や学年での活動を充実させる。

【高学年チーム】

- チーム担任制（学年担任制をベースにチーム担任制コーディネーターも加えたローテーションを組む。）担当学級は原則2週間ごとに交代する。
- 教科担当を決める。（例）A先生：5年国、5年社会、5・6年音楽
- チームでの活動や学年での活動を意図的に仕組み、めざす姿に向けて、子ども自身が成長しようとする気持ちを大切にする。

学年担任制・・・学年の教職員全員で子どもを見守り、指導にあたる仕組みです。  
 教科担当制・・・教科の担当を決め、通年で学習指導と評価を行う仕組みです。  
 交換授業・・・学級担当が教科や単元によって入れ替わり、授業をします。  
 チーム担任制コーディネーター・・・各学年・学級の様子を把握し、チーム経営や学年経営の計画・調整を行い、チーム担任間の日常的・定期的な交流を図り、チーム担任制を推進する役割を担います。

5 スケジュール



懇談会やアンケートだけでなく、心配なことや疑問に思われることなどがあれば、いつでもご相談ください。（事前にご連絡いただくと、日程調整できるので、助かります。）

## 6 Q&A

### **Q1 担任の先生はいなくなるのですか？**

子どもを担当する教員がいなくなるわけではありません。学年の教職員全員が「担任」として関わり、中心となる主担当を明確にします。

### **Q2 相談や連絡は誰にすればよいですか？**

これまで通り主担当の教員にご連絡ください。必要に応じて学年チーム全体で情報を共有し、最適な対応を行います。連絡帳の場合は、朝、主担当が確認します。電話の場合は、「〇年生の先生を」と言ってくだされれば大丈夫です。

### **Q3 子どもが混乱したり、不安になったりしませんか？**

導入は段階的に行い、子どもが安心できるよう丁寧に説明します。高学年では、4月～6月の間の試行期間を設け、徐々に子ども達が慣れるようにしていきます。また、本校では、これまでも、専科の授業や同学年での交換授業を行ったり、体育や総合的な学習の時間や学年集会などで、学年としての活動も行ったりしてきています。チーム担任制への移行の素地は培っていると考えています。

### **Q4 人間関係で悩んだときは？**

誰でも、相談しやすい教職員に声をかけてください。複数の教員が日常的に関わるため、子どもの変化に気づきやすく、早期に支援できます。安心して相談できる大人が増えることもメリットです。

### **Q5 トラブルや困りごとがあったときは？**

主担当が中心となり、学年やチームで情報を共有して対応します。複数の教職員が関わることで、より早く・適切な支援が可能になります。

### **Q6 学習や評価はどうなるのですか？**

教科担当制や交換授業を取り入れながら、学年で共通の基準をもとに評価します。複数の教員が関わることで、より公平で多面的な評価が可能になります。

### **Q7 懇談会や参観日は誰がやるのですか？**

懇談会は、学年で行います。個人懇談会は、その時の主担当が行います。ご希望があれば、担任を指定していただくこともできます。授業参観は、それぞれの担任の授業を観ていただけるよう工夫します。

### **Q8 教員が頻繁に入れ替わって落ち着かないのでは？**

高学年ではローテーションを行いますが、計画的に実施し、子どもが安心して学べるよう配慮します。複数の教員が関わることで学級の安定につながると考えています。

### **Q9 誰が子どものことを一番よく知ってくれるのですか？**

複数の教員が関わることで、子どもの良さや課題を多面的に把握できます。学年（チーム）内で情報を共有し、継続的に見守る体制を整えます。

### **Q10 担任としての責任があやふやになりませんか？**

チーム担任としての意識が低いと、「他の担任がやるから大丈夫」と、甘い認識や指導の無責任さが生まれることも考えられます。このデメリットがあることを理解し、日頃からチーム担任全員で責任をもつことや問題を放置しないことなどを確認し、意識化を図っていきます。

### **Q11 チーム担任制は他の学校でも行われていますか？**

全国的に導入が進んでおり、広島県内でも複数校が取り組んでいます。東広島市では本校が初めてです。東広島市教育委員会と連携し、段階的に導入し、丁寧に進めていきます。